

**謹賀新年** ■退職した学校では6年間、校内研修で算数科を中心に、問題解決学習に取り組んでいました。●問題解決学習は課題解決学習ではないと講師の先生から教えていただきました。課題解決学習は先生から与えられた課題を解決する受動的な学習であるが、問題解決学習は課題から子どもが自身の問題だと感じ、それを解決していく能動的な学習であると。●そこで授業者は導入段階(つかむ～見通す)に苦心しました。導入の話合いの中で課題が問題に変容するのです。●例えば、2年生かけ算の導入で子どもが5人ずつ乗っているジェットコースター3台の絵があり、子どもは全部で何人？という課題があります。導入の話合いで、どれにも同じ人数乗っているな、それが3回繰り返されているな、これを簡単に計算できたらいいなと子どもは考えます。これを解決しようとするのが問題解決です。■課題が問題に変容するには何が必要か、それは子どもの内から起こる学習意欲だと思います。導入の話合いで苦心するのは、この学習意欲を高めることです。それには単純で明快な問いを先生が持つことです。●研究授業をする若い先生には「単純化が大事だよ」とはよく言ったものです。



側のベンチで横になって待っていました。とにかく寒かったです。(東名高速上り由井PAの屋上にて12月26日撮影)

**富士山の夜明け 星景写真**。左の写真は101枚の写真を後で合成したものです。少し離れた点のような星は、13分後の星の位置です。星(地球)はこんなに動くのですね。写真はカメラが自動で撮ってくれましたが、私は